

研究名： 当院における胃瘻造設術の後方視的検討

1．研究の目的

胃瘻造設術は小児外科で広く行われる手術の一つです。従来は開腹手術が主でしたが、近年では腹腔鏡を用いた術式や、上部消化管を用いた経皮内視鏡的手術も一般的に行われています。しかしながら、それらの術式の使い分け等については、未だ一定の見解はありません。そこで、当院のこれまでの症例から各術式の特性を把握し適切な術式を検討します。

2．研究の方法

研究対象：当センターにて2003年4月～2022年12月までに胃瘻造設術を施行された方
研究期間：倫理審査委員会承認後～2024年3月
研究方法：対象患者さんの診療録を用いて、術式毎に背景（年齢、性別、身長、体重、基礎疾患など）、手術成績（手術時間、術後合併症、入院日数、再手術の有無など）について差があるかどうかを、統計学的解析を行い検討します。

3．研究に用いる情報の種類

患者背景（年齢、性別、身長、体重、基礎疾患など）、手術情報（術式、手術時間など）、術後成績（術後合併症、入院日数、再手術の有無など）

4．情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

6．お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお、すでに解析が終了している場合にはデータの削除が困難となる可能性があります。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 小児外科系専門診療部外科 小関元太

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7474）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 小児外科系専門診療部外科 小関元太